

作成日：2026年3月16日

2023年9月から2028年3月までに産業医科大学病院産婦人科で悪性腫瘍の治療を受けた患者さんおよびご家族へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和6年3月30日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。

本研究に関するお問い合わせやご自身の情報の利用を希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

婦人科がんの疾患特異的なQOLの経時的変化と労働機能への影響

※QOLは、Quality of Lifeの略で、「日常生活の質」と訳すことができます。

2. 研究期間

研究機関の長の許可日から西暦2029年3月31日まで

(2031年3月31日まで延長される場合があります)

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

産業医科大学 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸

5. 研究の目的と意義

【目的】当院で婦人科がんに対する治療を受けた患者さんの診療録データを使用して、疾患別に治療前後の日常生活や社会活動の変化を調べることを目的とします。

【意義】日常生活や社会活動への影響を調べることで、症状の予防や改善を目指した対策、新しい治療方法の提案が期待できます。

6. 研究の方法

当院に電子カルテに保存されている診療録の内容から、年齢・病歴・妊娠分娩歴・既往歴・アレルギー歴・輸血歴・血液検査や画像検査の結果・薬剤の使用歴あるいは使用期間・手術療法あるいは化学療法の治療歴・治療後の効果判定・治療期間・仕事の有無・業務の種類・QOLスコアリング・労働機能障害・治療と仕事の両立

に関わる問題点のそれぞれのデータを整理して研究に使用します。患者さんへ新たに身体的なストレスがかかる研究ではありません。使用する記録は個人が特定できない方法で管理し、個人情報の漏洩のリスクを避けるように対策し産業医科大学内で分析します。

#### 7. 個人情報の取り扱い

個人情報は、カルテの整理簿から住所、氏名、生年月日を削り、代わりに新しく符号をつけ、研究責任者が管理し個人情報の漏洩を防止します。本研究で得られたデータは、論文等の発表後 10 年間保管します。保管期間終了後、情報は復元できない方法で消去・廃棄し、個人情報が外部に漏れないように対処します。本研究への参加の拒否は自由です。拒否された場合は、その時点までに得られたデータを、同様の措置で廃棄します。研究への参加を拒否される場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。本研究から対象外とさせていただきます。

#### 8. 問い合わせ先

産業医科大学 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸 (093-691-7449)

#### 9. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は講座研究費で行われ、一切の利益相反はありません。産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。